

平成 26 年度さくらねこ無料不妊手術事業

協働ボランティア事後調査アンケート 集計結果

さくらねこ無料不妊手術事業とは

どうぶつ基金が動物愛護事業の基軸として行っている「さくらねこ無料不妊手術事業」は「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこ TNR (Trap/捕獲し, Neuter/不妊去勢手術を行い, Return/元の場所に戻す, その印として耳先をさくらの花びらのように V 字カットする)」を実施することで、繁殖を防止し、「地域の猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ、「飼い主のいない猫」に関わる苦情や、殺処分の減少に寄与する活動です。

1. アンケート概要

平成 26 年度に「さくらねこ無料不妊手術事業」の一環として発行している「さくらねこ無料不妊手術チケット (以下チケット)」に申請があった 957 件のうち、審査を通り実際にチケットを使用し TNR を行った協働ボランティアへ事後調査アンケートを実施しました。

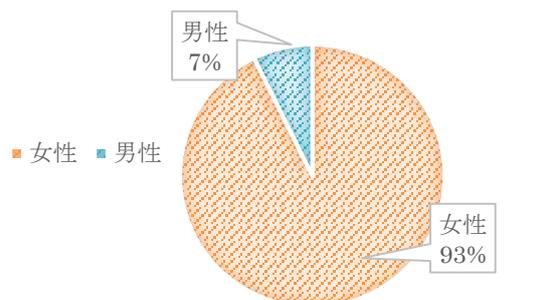
 平成26年度さくらねこ無料不妊手術事業申請件数 **957 件**

 アンケート回答数 **165 件**

2. 協働ボランティアの男女比

男性: 12 名

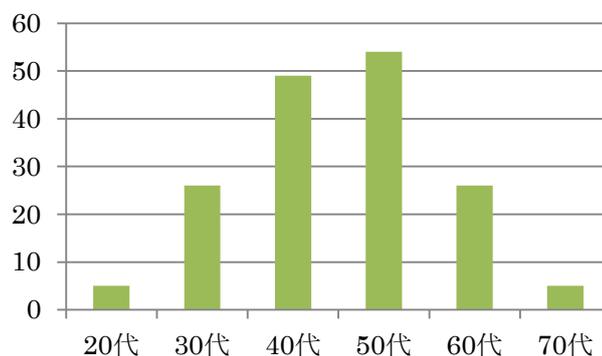
女性:153 名



3. 年齢層

25 歳から 78 歳

平均年齢 49.6 歳



4. 協働ボランティアの活動内容調査

表1 協働ボランティア活動内容

保護里親探し活動を行っている	139	84%
餌やりを行っている	112	68%
猫の糞尿処理を行っている	76	46%
募金や物資の寄付を募っている	42	25%
行政の地域猫活動グループ等に登録している	39	24%
収支決済書を作成している	38	23%
該当項目なし	9	5%

5. TNR を実施した地域の猫の変化調査

表2 TNR を実施した地域の猫の変化

出産が減った・ゼロになった	119	72%
ノラ猫が減った・増えていない	118	72%
発情期の声が減った・無くなった	102	62%
性格が穏やかになった	86	52%
ほぼ手術が完了した	43	26%
変化が見られない	5	3%
その他自由記述		
猫が綺麗になった	10	6%
猫の行動範囲がせまくなった	10	6%
猫が減って新参者が入ってきた	7	4%
捨てられる頭数が増えた	4	2%

6. TNR を実施した地域住民との関わりの変化調査

地域の人に感謝されることがあった	112	68%
協力してくれるひとが増えた(できた)	110	67%
住民の理解が得られた	85	52%
苦情が減った	84	51%
餌やりさんのマナーが改善された・意識が向上した	75	45%
猫を可愛がってくれる人がふえた	60	36%
変化なし	11	7%

7. 今後の課題や問題調査

資金不足	144	87%
人手不足	111	67%
ボランティア以外の置き餌	60	36%
捕獲がうまくできない	57	35%
地域住民とのトラブル	31	19%
活動グループ内の人間関係	14	8%
他の活動団体とのトラブル	9	5%
特になし	7	4%

